

“進取挑戦”の精神で業務を変革



ボラスグループ
中内晃次郎社長

本年は、引き続き「ウィズコロナ」を前提とした「新しい生活様式」で社会生活を行う年になります。そんな中ではありますが、ワクチンの開発など明るいニュースも出てきておりますので、人類の英知と努力で、感染拡大防止と経済活動の促進が可能となり、昨年は延期された東京オ

リンピック・パラリンピックや各種祭事やイベントなども形態の変更や工夫をして開催し、社会全体が前向きに活動できることを願っております。

当社の経営理念の一説に「…創意工夫と進取挑戦の精神をもって、仕事に取り組むものとす」とあります。

この『進取挑戦』を本年の当社のキーワードといたします。

『進取挑戦』という四字熟語は辞書にはありません。進取と挑戦という単語を組み合わせた、ボラスグループ独自の言葉です。進取とは慣習にとらわれず、自ら進んで新

しい物事をすることで、挑戦とはそれに挑むことです。

『進取挑戦』とは、世の中のニーズに応えるために、新しい考え方や取り組みに、業界に先駆けて着手しそしてやり遂げる。という考えが込められています。

事業を取り巻く環境に現在のような「100年に一度」「世界大戦並み」等と形容される大きな問題がある時こそ、大胆な変革が求められる時になります。一人ひとりが『進取挑戦』の精神をもって、業務の変革に挑戦してまいります。